

# 紙上初、学校説明会です。(音声・動画説明会は只今準備中)



ふんばる「けやき君」

## 入試広報部長あいさつ

新型コロナウイルスによる社会情勢の変化で、1学期の学校説明会を中止にさせていただきました。このような異例の形ではありますが、本校の校風を少しでも感じとっていただけたら幸いに存じます。紙上説明会は随時更新していきます。また、音声説明会、動画説明会も順次 HP に掲載していきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 多様化する社会で変わらぬ羅針盤

私立学校には独自の教育理念がありますが、その理念を具体的な教育方針に落とし込むとき、社会のニーズと全く無縁ではられません。また、どのような未来社会が望ましいと考えるかでその方向性は変わってきます。一見同じような問いでも、「グローバル化する競争社会でいかに勝ち抜くか」と「国際社会でどのように貢献するか」とでは、学校の教育目標・カリキュラムは微妙に変わってきます。

本校の創立からの教育観・学力観は、校是の「報恩感謝」と校章やマスコットキャラクターに使われている「ケヤキの木」に表れています。周囲に生かされていると思う気持ちが感謝、自己実現のための最大限の努力が報恩。また、「ケヤキの木」の幹を判断力・思考力・表現力に対応させ、生涯にわたって必要な能力ととらえ力点をおいて育てています。

## 信頼の男子教育

男子生徒は、どこで伸びるかわかりません。中高一貫で6年間お預かりしていると、それが顕著に分かります。階段を一段ずつ上るといよりは、

2段3段飛ばし駆け上がる時もある、踊り場で立ち止まるときもある、それが男子の成長です。思春期における試行錯誤の機会、暗中模索の時間は、外からみて歯がゆい、立ち止まっているかのように見えます。このとき、子供は哲学的になっています。「なぜ勉強するのか」「なぜ勝たなければならないのか」。哲学は人を立ち止まらせます。しかし、自分の価値観を形作るうえで、とても重要な時間です。そこを、絶妙のタイミングでアドバイスする、あえてアドバイスしない。ここが、男子教育の難しさ・楽しさです。本校は、長年検証し先駆的に積み上げてきた信頼の男子教育を実践しています。

## 貢献の喜びと豊かな感情

1972年創立以来の流れをくむ、現在の教育方針の一つは「心豊かな人間の育成」です。

本校は、学業以外の様々な活動に、積極的に参加することを推奨しています。座学だけでは養えない力があるからです。例えば、集団のパフォーマンスを上げる力、他者を生かす力です。貢献の喜びを味わう経験は一生の財産になります。また、物事に直接触れる機会を多く持つことも重視しています。豊かでバランスの取れた感情、正しく確かな直観力を養うことが、健全な判断能力につながっていくからです。

これらの力は、部活動、学校行事、ボランティア活動など、他者と関わり自己と向き合う中で鍛えられる能力です。本校は、学業をメインに、クラブ活動・行事もしっかりやりたいという生徒には相性がよく、満足度も高いと思います。

## ホットニュース

2022年の高校50周年、中学30周年に向けて、入試特待生制度と入学後の奨学生制度の拡充、新カリキュラム編成、学習環境の整備など、「意欲応援プロジェクト」が始まっています。



6月1日 渡辺 聡(入試広報部長)